

令和8年度 第1回役員会

1 日 時 令和 8 年 7 月 17 日(金) 18:30~20:00

2 場 所 三宮センタープラザ 西館 6 階 第 17 会議室

3 出席者 坪本会長、久保副会長、門脇副会長
常任幹事(射場、辻、佐伯、篠原、上山、芝本)
KTC(安藤理事、伊藤監事)
大学(鍬田専攻長、椿教学委員)
暁木会顧問(黒澤顧問)

4 議事内容

(1)年間行事予定(資料 1)

- ・6/12 に土木業界説明会を開催。
- ・7/9 に大学との意見交換会を開催。業界説明会が昨年より 1 ヶ月早まったため、意見交換会は例年より 1 回減らし、年 2 回を予定(次回は 1/14)。
- ・11/7 にホームカミングデイ、3/25 に暁木会総会を予定。

(2)令和 7 年度総会報告(資料 2)

- ・令和 7 年度は開催形式を総会と卒業記念パーティーの 2 部制とした結果、卒業記念パーティーには大学の先生 21 名、会員 37 名、卒業生・修了生 87 名の計 145 名が出席、参加率は上昇。
- ・特に卒業生・修了生の参加がコロナ禍以降減少傾向にあったが、総会と卒業記念パーティーを分けて開催したことにより、参加者数が大幅に増加(40 名→87 名)。
- ・参加者数増加の要因として、大学の先生方からのアナウンスによる効果も大きい。
- ・令和 8 年度も総会・卒業記念パーティーの 2 部制は継続。
- ・卒業記念パーティーのシナリオは検討が必要。

(3)業界説明会の実施報告(資料 3)

- ・昨年度のアンケートにて、インターン募集より前の時期に開催してほしいとの声を踏まえ、今年度は 6/12 に開催(昨年度より約 1 ヶ月前倒し)。
- ・学部 3 回生が 75 名、修士 1 年生が 4 名、計 79 名が参加。今年度から修士生の参加も可となったが、結果的に参加者が少なく今後の課題。
- ・業界説明会には 18 企業が参加。業界説明会後に、講義とは切り離して、企業説明会を開催し、企業 PR やインターンの説明等、個別に学生が話を聞ける場を設け、約 3 割程度の学生が参加。

- ・事後アンケートでは、業界説明会は参考になったという意見多く、開催した意義はあったと考えられる。
- ・良かった点として業種別で比較しやすかったという意見があり、要望として質問の時間を増やしてほしい、日頃の業務内容を具体的に知りたいといった声もあった。
- ・企業説明会に関しては、気軽に話が聞けて良かったとの意見があったが、時間が短く、一つのブースしか話が聞けなかったとの声もあったため、来年度は時間を区切るなどの工夫が必要。
- ・KTC については、OB との交流・OB 訪問やつながりのサポート、就活視点を望む意見があった。
- ・学生側としては就職活動への繋がりとしてありがたい機会と捉えられているように思われるが、授業の一環として実施している以上、就職活動の一環ではないという線引きは重要。
- ・業界説明会は授業の一環として実施している以上、企業側は企業色を出さないという前提のもとに参加。企業 PR は授業とは切り離れた企業説明会の中で実施。
- ・業界説明会の主旨は業界を知ってもらうことであり、その旨を学生、企業双方に説明した上で説明会を開催している。今後も、双方に主旨をよく理解してもらったうえで、実施していくことが重要。

(4) 会員の状況等(資料 4)

- ・R8.4 現在で 4,181 名。前年度より 37 名増加。
- ・会費会員は減らないように進めていきたい。

(5) 名簿改訂について(資料 5)

- ・12 月の発行、発送に向けて今後調査を進めていく。
- ・予定より少し遅れているが、9 月には調査を完了させ、10 月に素案作成、11 月に印刷に取り掛かりたい。
- ・名簿改訂のお願いに合わせ、会費会員加入のお願いも行う。
- ・個人情報の取扱いが難しくなっているため、今回発行の名簿には氏名・出身高校・勤務先のみを掲載する。
- ・勤務先のみ掲載となれば、退職すると連絡が困難となる可能性も。今後、大学時のメールアドレスを卒業後も利用できるようになるため、大学のメールアドレスを掲載という案も考えられるが、リスクが高いので難しい。
- ・ログイン ID、パスワードがあれば誰でも見に行けるようなシステムになればよいが、名簿は基本的に KTC が一括管理しているため、暁木会だけで採用していくのは難しい。

(6) 暁木会ニュース目次案(資料 6)

- ・令和 8 年度の暁木会ニュース発行は、9 月と 3 月の 2 回を予定。
- ・「スタートライン」は 9 月の掲載は無し。大学との意見交換会でも社会人 1～3 年目では投稿が集めにくいので年代を広げてはどうかとの意見があった。
- ・SNS でも良いのではとの意見もあるが、紙ベースを基本として進めていく。
- ・9 月の発刊には名簿改訂に関する案内も掲載予定。
- ・11/7 のホームカミングデイの情報も掲載してほしい。

- ・(7)大学側からの意見を踏まえ、社会人ドクターに関する記事の掲載を検討。
- ・暁木会 HP もリニューアル予定であり、その中で社会人ドクターを案内していくことも可能。

(7)大学側からの情報提供

- ・業界説明会は暁木会から多くの協力をいただいている。引続き来年度もお願いしたい。
- ・ドクターの学生を育てていきたいと思っている。暁木会ニュースで社会人ドクターの紹介や、助成金ファンドがあるといった紹介があっても良いのでは。
- ・社会人ドクターは3年で卒業ではなく、6年でも可能。費用も支払い期間も都合に応じて決められる。